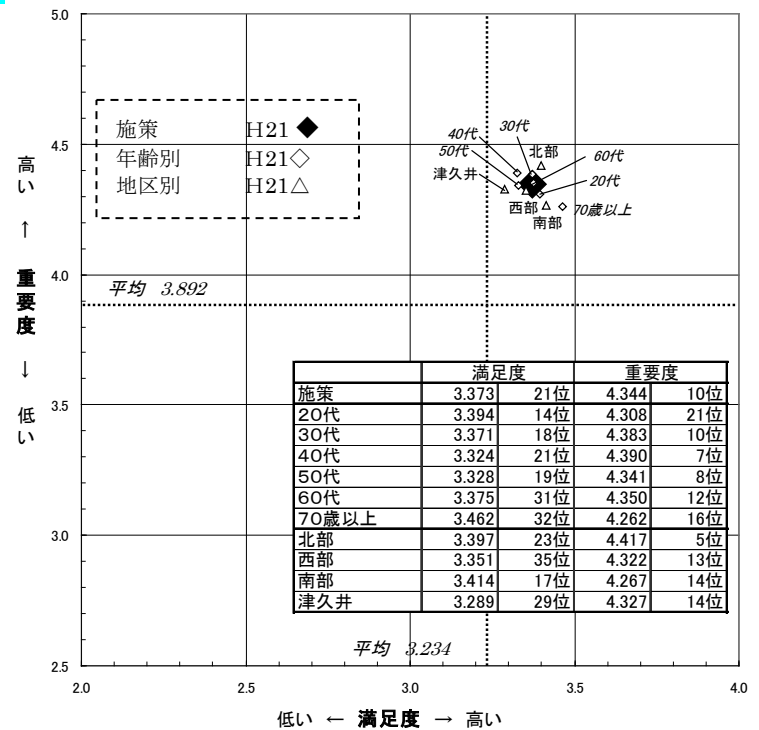


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

- この施策の満足度は3.373で全119施策の中で21番目。
- 重要度は4.344で10番目である。
- 改善要望度は0.221で23番目である。

環境負荷の低減を進めるしくみづくり



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	4 ② 1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4 ② 1	/	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④ 2 1	4 ② 1	
合計		10		評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	地球環境の保全に向けた取組の推進に当たっては、特に、市域の自然的・社会的条件に応じた環境負荷の低減が大きな課題であり、さまざまな主体による仕組みづくりがより一層重要となっている。
解決策	新たな環境基本計画と併せて、(仮称)地球温暖化対策実行計画を平成21年度中に策定し、22年度から、市民・事業者・行政の連携と協働による総合的な取組をより一層進める。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向